

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第33号

発行年月 2017年3月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 ☎700-0805 岡山市北区兵団4-39
 岡山県看護研修センター3階
 TEL086-238-6688・FAX086-238-6681
<http://okayama.houmonkango.net/>
 E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
 発行責任者 石本 傳江

21年目の歩みは、
 新たな未来への創造へ

一般社団法人岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 石本 傳江



会員の皆様方には、お健やかに、新年にスタートされたこととお慶び申し上げます。

平成29年も早や2カ月を過ぎようとしています。昨年20周年を迎えた当協議会は、いよいよ本年から成人としての新たな歩みを刻もうとしています。

さて、昨年を振り返りますと、盛大に20周年行事を終え、その勢いに乗ったかのように次々と皆様方からの提案があり、ラダー研修システムの構築、出前講座の実施、精神科訪問看護登録のための研修の導入等に取り組みました。11月には活動を実施・継続のために行政のご理解と支援を頂くよう、県知事に要望書を提出しました。内容は①精神科訪問看護に対する普及・啓発 ②訪問看護における難病(特定)医療費助成制度の改善 ③小児慢性疾病児の就学支援 ④訪問看護管理者の研修要件(ローカルルール)です。

これらの課題が新たな未来につながる21年目の飛躍にふさわしい活動となりますように、力を結集して歩んで参りましょう。

「笑顔とともに…」

新見医師会立 訪問看護ステーションくろかみ
 管理者 小郷 寿美代

新見医師会立訪問看護ステーションくろかみは、東西南北約50kmずつある、岡山県内でも2番目に大きい面積の新見市全体をカバーし、設立19年目を迎えています。冬になると1m以上積雪する地域もあり、訪問すること自体がたいへんですが、皆楽しく訪問しています。

利用者の年齢は2歳から103歳まで幅広く疾患も様々です。最近では癌末期の方が多く、家での看取りもあり、最期まで共に傍にいて、心から「ありがとう」と言っていただけの時が、訪問看護師冥利に尽きる瞬間です。

現在、この広い地域を包括的にサポートするために、平成24年度から市内で開催される医療・介護の多職種連携会議に積極的に参加し、顔の見える関係作りに努めています。また県南の病院であっても遠隔医療システムによるTV電話を利用して、遠く離れた自宅の様子や県南の会議に参加できないご家族にも会議に参加してもらう等の退院調整会議を開き、情報共有を充実するなど、退院から在宅への円滑で切れ目ない支援の実現を目指しています。

私たちは、これからも「新見で過ごしたい」という方々に、安全と希望を届けられる訪問看護を、笑顔とともに提供していきたいと思ひます。



「笑顔で……」

かも訪問看護ステーション
 管理者 勝山 貞子

かも訪問看護ステーションは県北部にあり、平成10年に開設しました。

その頃は、人口1万3千人いましたが、今は5千人までに減少し、そのうち高齢者が30%を占めています。その中で老老介護・夫婦共に認知症や独居または日中独居が増えています。

そのため介護負担も大きく、認知症のため服薬管理もできなくなっており、訪問時には、わかりやすく工夫し服用してもらっています。

近年、訪問看護は、身体介護はもちろんですが、相談相手や話し相手もないため話を傾聴していると時間内には終わらないことが多々あります。

それでも話を聞くことにより、精神的不安を取り除くようにし、地域に根ざした家庭的な看護を提供し、利用者やその家族の皆様が笑顔になれるように努めています。



訪問看護ステーション ママック総社 (倉敷総社)

管理者 杉谷 智子

初めまして、訪問看護ステーション ママック総社です。平成27年12月に総社市では5番目のステーションとして開設しました。平成28年7月からは、24時間対応をさせて頂いています。現在、看護師5名・作業療法士3名・理学療法士7名・事務員1名で連携をとりながら訪問しています。地域の皆様に頼りにされる事業所であるように精一杯頑張ります。宜しくお願い致します。

訪問看護ステーション エール (岡山C)

管理者 平田 晶奈

小児・看取りを中心に、24時間365日の在宅ケアを実践する訪問看護ステーションエールです。

元気いっぱいのスタッフが、トレードマークの黄色のユニフォームで訪問させていただきます。

在宅生活をより楽しく充実させたい!と思う方は、ぜひエールに一報を。お待ちしております。

P.A.C訪問看護ステーション (倉敷総社)

管理者 山原 陽子

この度、平成28年4月1日に倉敷市巾島に開設しましたP.A.C訪問看護ステーションです。

Pは「Passion:情熱」Aは「Action:行動」Cは「Challenge:挑戦」を意味しています。

看護師4名PT1名OT1名で“ご家族が安心でき、心温まる訪問看護”を提供できるよう又、この事業所を選んでよかったと思っ
て頂けるよう利用者様・ご家族様の想いに寄り添って参ります。
今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

訪問看護ステーションナースウイング (岡山B)

株式会社ナースウイング 代表取締役 塩田 和行

平成28年6月、岡山市中区平井にオープンした訪問看護ステーションです。

私たちは、ご利用者とそのご家族のことを第一に考え、一人ひとりの心に寄り添ったサービスを行うことで、皆様が安心してご自宅で過ごせるようにお手伝いいたします。

皆様から愛されるステーションづくりを目指して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

訪問看護ココロステーションミモ (岡山C)

管理者 吾浦 恵美苗

弊社はNICU出身看護師による小児専門事業所です。アフターNICUの超重症心身障害児ケアを得意とし、「当たり前」の日常生活を子供たちに」をテーマとした生活支援サービスも充実させています。また、タッチケアやチャイルドコンタクト(遊びの時間)、スヌーズレン(感覚刺激による発育促進)など子供たちの可能性を伸ばすサービスを推進しています。

ケアーズ訪問看護リハビリステーション箕島 (岡山A)

管理者 加治 雅美

平成28年6月岡山市南区箕島にケアーズ訪問看護リハビリステーション箕島を開設しました。

これまでの経験に充実した研修をプラスさせ、多くの皆様の期待に応えられる訪問看護ステーションとして、また利用者様の気持ちに寄り添える看護が提供できるよう努力していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

NPO法人そーる そーる訪問看護ステーション(倉敷総社)

理事長 片岡 奈津子

そーるの語源は「太陽」

関わりある全ての人に対し笑顔・勇気・希望を与え、また与えられる存在であることを理念に日々、訪問させて頂いています。「家に帰るのは大変じゃけど、いつでも駆けつけるけん!」少しでも顔や名前を覚えて親しんで頂けるよう4人で奮闘中!

場所柄、山間部にも力を入れていきたいと思っています。

ホームナーシング月夜 (岡山C)

管理者 宮崎 和代

初めまして。ホームナーシング月夜です。

「月夜」という名前は、大好きだった祖母の名前です。叔父の家を自分で床を張り、壁を塗りDIYした手作り事務所です。一人一人に心を込めた看護がしたいという気持ちから「可能な限り寄り添う看護」を理念に6名の看護師と福祉用具専門相談員で協力し頑張っています。今後よろしくお願い致します。

訪問看護ステーション みこと (倉敷総社)

管理者 大正谷 直美

心のもった安心と安全な看護を生活の場で身心サポートします。敬意住み慣れた、慣れ親しんだ生活の場で、永く暮らせるようみことのスタッフが全力でサポート致します。「敬意・尊び・感謝の心」を大切にスタッフ一同頑張っています。「みことでよかった」と思っていた
だけそんなサポートを提供致します!

メディリッチ 訪問看護ステーション (岡山A)

管理者 熊澤 尚美

こんにちは、メディリッチ 訪問看護ステーションです。

当事業所は「人を想い人を活かす看護サービス」を理念に「病ではなく、人を見る」をコンセプトとし、サービスをご利用されるご本人が「本質的に何を求めているのか」を第一に考え、一人一人の心に寄り添う看護サービスを提供します。地域サロンの開催、事業所内での研修、外部研修受講など自己研鑽に努めています。

訪問看護リハビリステーションみつや (倉敷総社)

管理者 鳥居場 香代子

平成28年6月に開設した訪問看護リハビリステーションみつやは、看護師4名、理学療法士2名、作業療法士1名、相談員1名で活動しています。

“one happiness”を理念にご利用者一人の幸せを考え、職員一人一人がしっかりと想いをもち、自ら考え行動する訪問看護ステーションです。

共に成長できる環境で、皆様に支え教えて頂きながら取り組みます。365日24時間対応、病院同行サービス等皆様のニーズに沿えるサービスで、地域を支え皆様の幸せのサポートを行います。宜しくお願い致します。

訪問看護ステーションシエル (岡山B)

管理者 福田 貴通

当ステーションは平成28年4月に岡山市中区海吉に開設致しました。小規模のステーションではありますが、小児から老年期または精神科などあらゆる利用者様に対応させて頂いております。また呼吸療法認定士による人工呼吸器管理やCAPD等の医療機器の対応もしております。

安心・安全な医療・看護の提供を行えるよう、地域のステーション様と連携を取らせて頂きまたご指導いただき、スタッフ一丸となり頑張っております。よろしくお願い致します。

訪問看護・リハステーションフィジオホーム (岡山B)

管理者 山崎 美加子

「在宅でリハビリを提供したい」との思いでこの度、2016年8月より理学療法士が訪問看護ステーションを開設させて頂きました。

当ステーションでは看護師3名と理学療法士1名で「世界に一つだけの看護 あなただけのリハビリテーション」をモットーに、看護とリハの両輪で利用者様の療養をサポートしていきます。至らない点もありますが、地域の方々を支えられて開設直後からご利用頂いております。

これからも関わる人々との連携と絆を大切にしながら、利用者様やご家族が安心して在宅療養できるよう援助していきたいと思っております。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

新設のステーション紹介

岡山市公衆衛生功労者表彰を頂きました

訪問看護ステーション絆 管理者 玉谷 弘美

平成28年10月13日に岡山市役所において、表彰式があり「功労賞」というありがたい賞をいただきました。思えば、20歳で看護師となり10年余りの臨床経験をしながらも地域との橋渡し役として新聞作成をしていた頃、後に地域を回った時には訪問看護師としての名前より「新聞の玉谷さん?」と覚えられており苦笑したことがあります。現在に至るまでの24年間訪問看護師として、保険内だけではできない家族介護者のレスパイト支援や病気や障害をお持ちの方の想いに添う有償ボランティアナースの会「キャンパス岡山」の発会、市委託事業のオレンジカフェなど地域活動にも取り組んでいます。この賞も、ご縁のあったたくさんの方々に支えられ共に歩んでもらえる仲間を代表していただいたものと思っております。そんな仲間と共にこの賞を心の励みにこれからも地域に貢献できる存在として進んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

平成28年度 岡山市公衆衛生功労者表彰式



「訪問看護管理者研修に参加して」

あいの里訪問看護ステーション 井上 うき子

H28年7月2日～12月10日の7日間、看護研修センターにて行われた管理者研修に参加させていただきました。内容は、岡山県の地域構想について、診療報酬改定の理解と活用について、管理者としての基本姿勢と能力向上のために必要なこと、教育指導力を養うこと、利用者確保のために必要なこと、退院調整に関わる職種について、就労環境改善の取り組みについてで、どの内容も、管理業務2年目の私にとって、とても勉強になりました。大きな視野を持つことの大切さを知り、また、グループワークで他ステーションの管理者の方々と情報共有でき、いろいろなヒントを得ることができました。同じ立場で頑張っている人がたくさんいることを実感できた研修でした。

「出前講座」 の開催について

申込・問合せ

TEL086-238-6688

(火～金 9:00～16:00)

～あなたのまちの訪問看護師が伺います～

地域の方を対象に、地域の訪問看護師が伺い、介護予防や訪問看護・介護に関する講座を今年度より行っています。地域の方が自身の在宅での健康管理や介護予防、在宅療養に関する理解を深めること、訪問看護ステーションと地域の方が顔の見える関係となることを目的としています。

今年度は、地域の愛育委員会や老人会、一般企業よりお申込みいただいています。講座の希望は、健康体操・運動、生活習慣病等、ご自身の健康管理や介護予防に関する内容が多く、個々のご希望の詳細をお聞きしながら、それぞれの訪問看護ステーションが伺わせていただいておりますので、満足度も高いものとなっております。

訪問看護ステーションから、地域の皆さまに安心をお届けいたします! 是非ご利用ください。

「平成28年度訪問看護ステーション連絡協議会 中四国ブロック(in島根)意見交換会に出席して」

倉敷中央訪問看護ステーション 所長 柴田 由美子

平成28年10月8日島根県で行われた中国四国ブロック会に参加させていただきました。

訪問看護に対する状況や取り組み・困っている点などについて、7県から報告がありました。「小規模の事業所が多く大規模化に繋がらない、訪問りハビリに特化したステーションが増加している、管理者の差や看護師の確保と人材育成が進まない現状」等の発表がありました。他県も同様の課題があると再認識しました。

懇親会は、ステーションの管理者の方々の踊りなど心温まるおもてなしを受け、パワーを頂き、明日からも頑張ろうと思えました。



「訪問看護ステーション看護師研修に参加して」

倉敷記念訪問看護ステーション 政光 歩美

このたび訪問看護ステーション看護師研修に参加させて頂き、講義や実習を通し、訪問看護師としての役割や在宅医療をとりまく医療・介護制度の現状を学びました。訪問看護師として就職しこの春から3年目を迎えますが、利用者や家族とのコミュニケーション、病状の変化に気付くためのフィジカルアセスメント、病院スタッフや他部署との連携など、自身がこれまでにスキルアップできていることと今後の課題が明らかになり、とても有意義な研修だったと思います。また私のステーションでは、昨年より小児患者の受け入れを始めました。今後、小児看護の勉強会や研修報告などを積極的に行い、ステーション全体の知識・技術の向上を図りたいと思います。

事務局よりお知らせ

平成29年度から研修制度が大きく変わります

～「訪問看護の質」向上をめざす～

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 副会長 江田 純子

2025年に向け、地域の実情に応じた地域包括ケアの深化・推進をめざす中、訪問看護が十分に役割を発揮できるよう「訪問看護の質」の向上を図るため、研修制度を整備しました。平成29年度からの研修体制については、研修に関わる委員長・理事・事務局から成る合同会議で検討してきました。まず、訪問看護師の看護実践能力の指標として開発されたクリニカルラダーに基づき、レベルⅠ（新人）・レベルⅡ（初級）・レベルⅢ（中級）・レベルⅣ（上級）・Ⅴ（管理者）の各レベルに応じた大項目「訪問看護師としての基本項目」「訪問看護専門的能力」「組織的能力」に対する必須項目（中項目）を挙げ、研修のテーマ・ねらい・到達目標・内容を企画しました。また、知識・看護技術に関する研修も実施します。訪問看護師各自が、目標を設定し上のレベルをめざし成長できるようなプログラムです。積極的に研修に参加し、各自がめざす訪問看護師に成長しましょう。

さらに、皆様からの要望が大きかった「精神科訪問看護研修」を4日間20時間で7～8月に予定しています。現在、精神科訪問看護算定要件の研修として厚生労働省に申請中です。また、新設訪問看護ステーションや新任の管理者等の育成を支援するため、就業2年目までの管理者と次期管理者候補者を対象とした「管理者基礎研修」も計画しています。

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 新研修制度					
レベル	Ⅰ（新任者）	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ（管理者）
受講対象	新任者および準ずる者	レベルⅠ到達者	レベルⅡ到達者	レベルⅢ到達者	管理者
開催	毎年 (3日間コース+看護知識技術)	Ⅱ・Ⅲ 隔年 (4日間コース+看護知識技術)	Ⅱ・Ⅲ 隔年 (4日間コース+看護知識技術)	管理者基礎・Ⅳ 隔年	毎年（5日間コース）
資料代	1日1,000円	1日1,000円	1日1,000円	1日1,000円	1日1,000円
ラダー別受講 必須項目 (中項目)	1. 基本姿勢 2. 倫理 3. コミュニケーション能力 4. 組織内部の連携 5. 家族支援 6. 在宅看護知識技術 (知識1 技術1)	1. 教育指導 2. 自己啓発・研究 3. 社会資源 4. 感染管理 5. リスクマネジメント 6. 在宅看護知識技術 (知識2・技術2)	1. 倫理 2. 自己啓発・研究 3. 地域連携 4. 組織運営・管理 5. 在宅看護知識技術 (知識2・技術2)	1. 倫理 2. 教育指導 3. 自己啓発・研究 4. 地域連携 5. 組織運営・管理	1. 基本姿勢 2. 倫理 3. 教育指導 4. 組織内部の連携 5. リスクマネジメント 6. 在宅看護知識技術 (知識1)
在宅看護 知識 技術項目 研修	知 識 項目		技 術 項目		
	1. 認知症 2. 緩和ケア 3. 難病 4. 精神 5. 小児 6. 他		1. 口腔ケア・嚥下 2. 褥瘡・ストマ・皮膚 3. フィジカルアセスメント 4. カテーテル類 5. 人工呼吸器・酸素吸入・吸引 6. 他		

レベルⅢ
修了認証

※ レベルを越えての受講（聴講）は可能。（資料代1日1,000円）

※ 研修は資料代を徴収する。（レベル別研修は初日にコース分一括・在宅看護知識技術項目研修は当日）

※ レベルⅠ～Ⅳの受講必須項目（中項目）をすべて受講した者（2年以内）には、管理者申請により訪問看護ラダー別メモリーにて修了証を発行する。

※ レベルⅤを全日受講した者には、訪問看護ラダー別メモリーにて年度毎修了証を発行する。

※ レベルⅢ修了者は、当会のHP上のステーション情報にレベルⅢ修了者人数として掲載する。

	精神科訪問看護研修※（精神科基本療養費算定要件研修：4日間）	管理者基礎研修
対 象	全	次期管理者～着任2年以内
H29開催	4日間 7/12 7/27 8/9 8/23	4日間 4/12 4/26 9/13 9/27
受 講 料	会員20,000円 非会員40,000円	8,000円（資料代として）

※精神科訪問看護算定要件の研修として厚生労働省に申請中

編集
後記

例年がない雪の多さで県北のステーションの皆様は毎日の訪問看護大変だと思います。昨年20周年を迎え、新たな年は飛躍にふさわしく研修制度が大きく変わります。皆様とともに成長しよりよい訪問看護の提供ができるよう広報委員も情報発信に努めてまいります。皆様一緒に大きく羽ばたきましょう。

広報委員一同